

## 重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

### 1. 継続事業の前提に関する事項

該当事項はございません。

### 2. 資産の評価基準及び評価方法

#### ① 棚卸資産

最終仕入原価法

#### ② その他有価証券

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は主として総平均法により算定しております。）

### 3. 固定資産の減価償却の方法

#### ① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっております。但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	8年～39年
構築物	10年～45年
医療用器械備品	2年～15年
その他器械備品	2年～20年
車両及び船舶	5年～7年

#### ② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。

#### ③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

### 4. 引当金の計上基準

#### ① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員に対する賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当会計年度に負担すべき額を計上しております。

③ 退職給付引当金

春日リハビリテーション病院と新百合ヶ丘総合病院では異なる退職給付制度を採用しており、春日リハビリテーション病院は職員数が 300 人未満のため簡便法を採用し、新百合ヶ丘総合病院は原則法を採用しております。

(春日リハビリテーション病院)

職員の退職給付に備えるため、当期末における自己都合要支給額から特定退職金共済制度からの支給見込額を控除した額を計上しております。

(新百合ヶ丘総合病院)

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当期末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。数理計算上の差異は、発生の翌会計年度に全額損益処理しております。

5. 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっております。

6. その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

① ファイナンス・リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じて処理しております。但し、一契約におけるリース料総額が 300 万円未満の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、貸借処理を行っております。

② 補助金等の会計処理の方法

補助対象となる支出が事業費に計上される補助金等については、事業収益に計上しております。

③ ヘッジ会計の方法

金利スワップについては、特例処理の要件を満たしておりますので、特例処理を採用しております。

7. 重要な会計方針を変更した旨等

該当事項はございません。

8. 資産及び負債のうち収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項

該当事項はございません。

9. 担保に供されている資産に関する事項

① 担保に供している資産

建物	12,784,140	千円
土地	5,256,326	千円
借地権	98,959	千円
定期預金	50,233	千円
計	18,189,659	千円

② 担保に係る債務

一年以内返済予定長期借入金	847,528	千円
長期借入金	15,418,573	千円
計	16,266,101	千円

10. 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

別紙のとおりであります。

11. 重要な偶発債務に関する事項

該当事項はございません。

12. 重要な後発事象に関する事項

該当事項はございません。

13. その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

① 退職給付債務等の内容

期末における未認識数理計算上の差異（不利差異）83,535千円

② 繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

繰延税金資産

賞与引当金	120,555	千円
貸倒引当金	12,794	千円
退職給付引当金	95,933	千円
繰越欠損金	46,549	千円

その他有価証券評価差額金	16,752 千円
補助金返金未確定額	48,414 千円
その他	2,604 千円

繰延税金資産小計	343,606 千円
評価性引当額	△15,289 千円
繰延税金資産合計	328,316 千円

繰延税金負債

補助金入金未確定額	△80,066 千円
前払年金費用	△7,114 千円
繰延税金負債合計	△87,180 千円
繰延税金資産純額	241,135 千円

③ 賃貸借処理したファイナンス・リース取引の資産種類毎のリース料総額及び未経過リース料期末残高

	リース料総額	未経過リース料
医療用器械備品	23,538 千円	8,357 千円
その他器械備品	13,908 千円	7,202 千円
合 計	37,447 千円	15,560 千円

④ 有形固定資産の減価償却累計額 17,573,059 千円

⑤ 補助金等の内訳、交付者及び貸借対照表等への影響

(単位：千円)

補助金等の名称	交付者	金額	貸借対照表等への影響額
令和4年度神奈川県新型コロナウイルス感染症患者等受入病床確保事業補助金	神奈川県	1,253,050	552,968